

東尾道社宅修繕工事

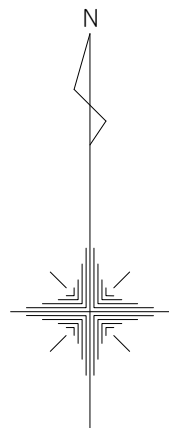
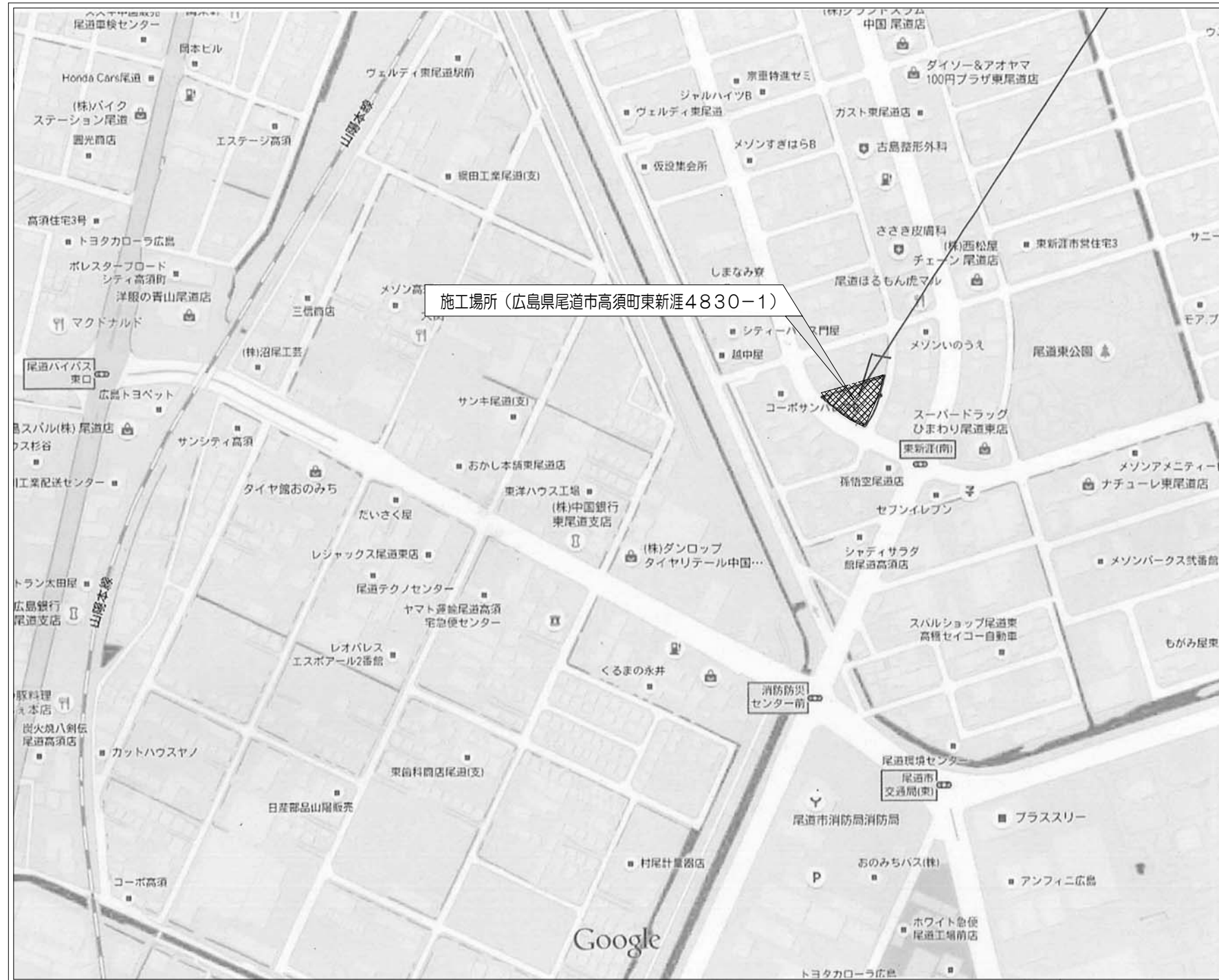
完成図

平成28年 3月

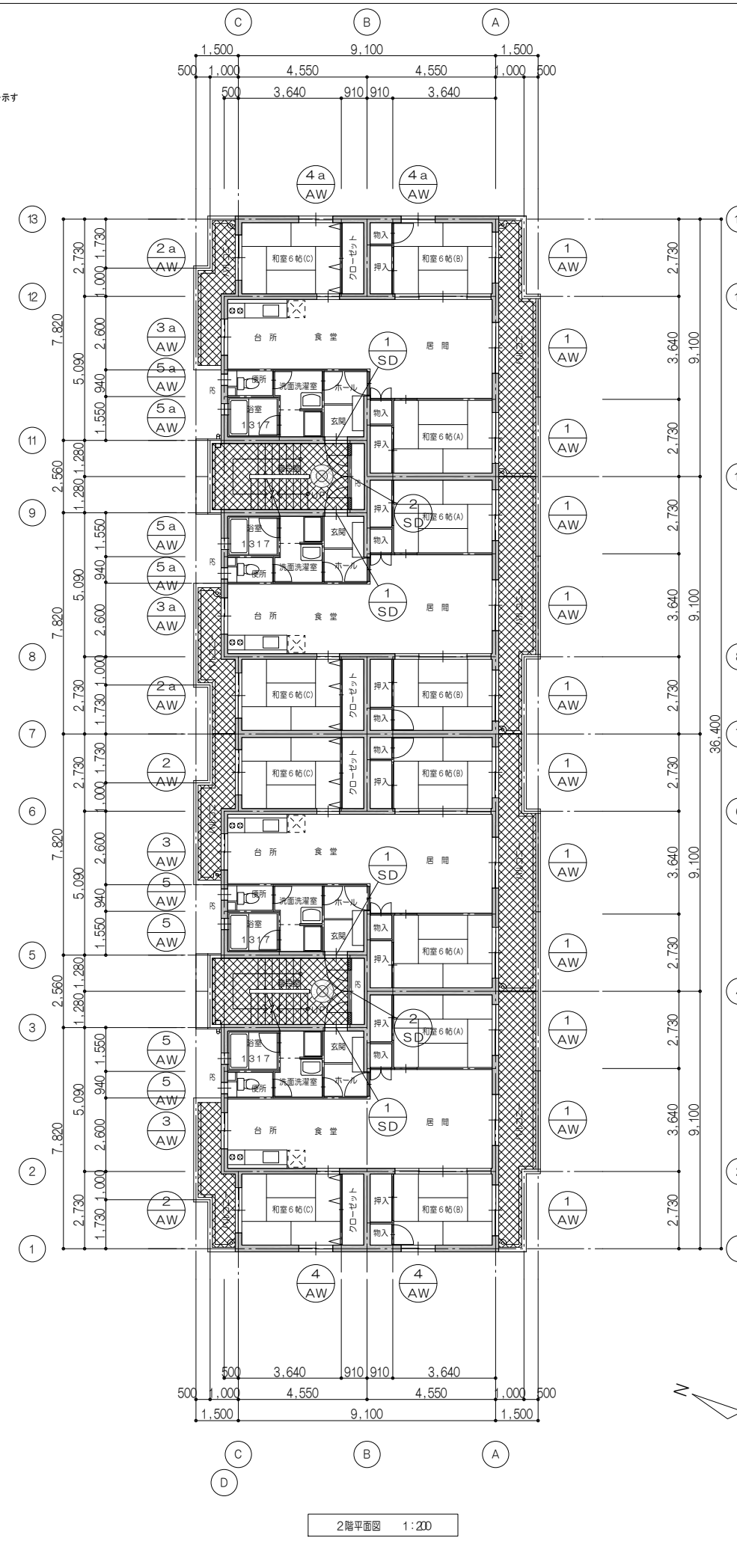
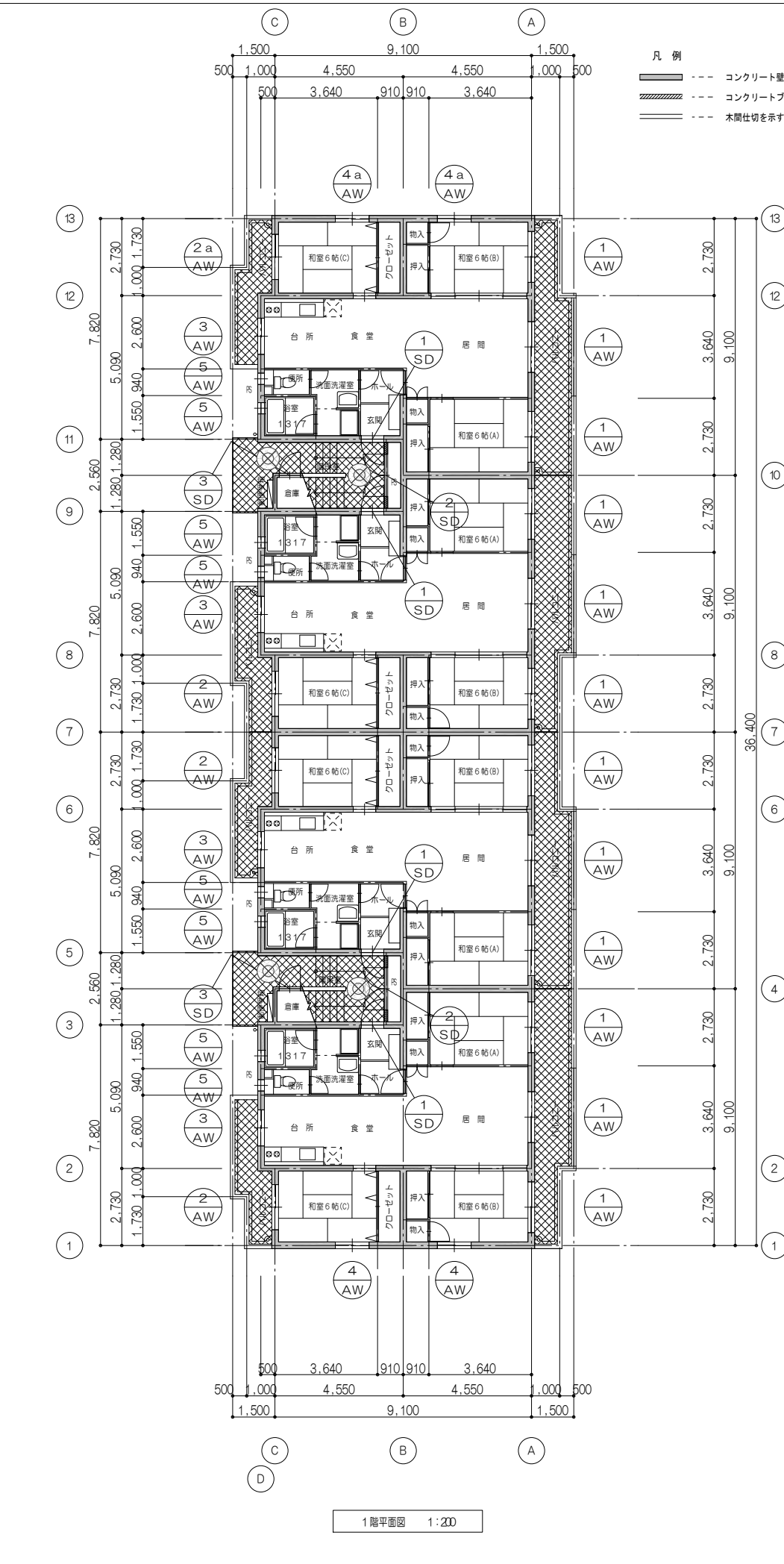
本州四国連絡高速道路株式会社
しまなみ尾道管理センター

図面リスト

図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
01	付近見取図	09	建具表
02	1階平面図・2階平面図	10	配置図・外構図
03	3階平面図・屋根伏図・PH階平面図	11	自転車置場詳細図
04	立面図	12	物置立面図
05	立面図（外壁調査図）		
06	断面図		
07	階段断面詳細図		
08	矩形図		



路線名	一般国道317号				
設計名	東尾道社宅修繕工事				
図面名	付近見取図				
縮尺	-	図番	01	作成年月	28年3月
課長		照査		設計	
本州四国連絡高速道路株式会社 しまなみ尾道管理センター					

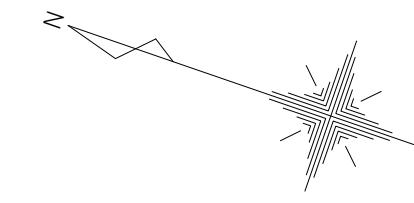


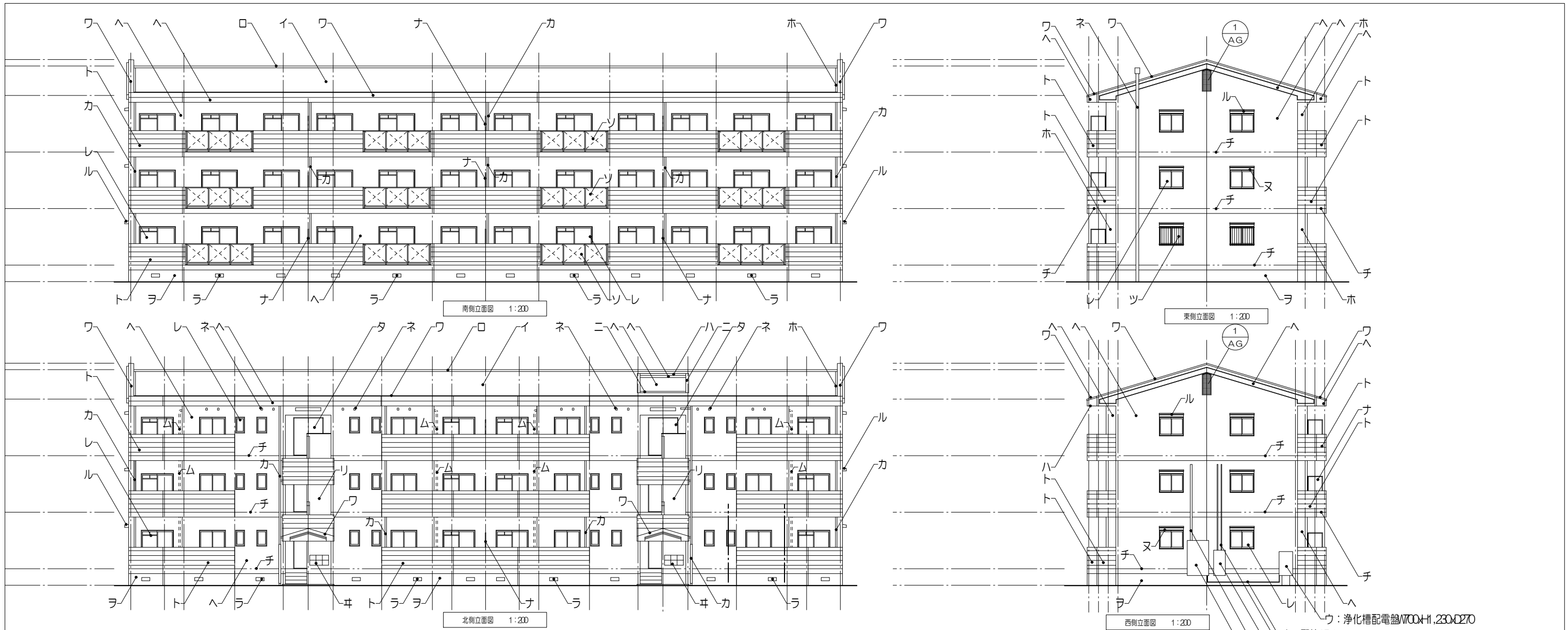
- 凡例
- 部分(階段、バルコニー1・2)
 - 床:ビニール床シート貼(新設)(ノンスリップタイプ)
但し階段部分は段鼻ノンスリッパ一体型とする。
(既存段鼻ノンスリッパ(既存のまま))
 - 排水溝、巾木:既存防水モルタルこて押え面 塗膜防水(新設)
但し巾木と外壁の取り合い部分はシーリングの打替を行う
 - ドレイン:铸铁製
既存下地調整の上、ノンタール系変性エポキシ樹脂塗料塗り
 - 壁、手摺壁:既存吹付仕上面
既存高圧洗浄、下地クラック等補修、下地処理の上、
水性弾性セラミックシリコン樹脂塗料
(下塗材:可とう形改修塗材RE厚塗り)
 - バルコニー裏、階段裏、天井:
既存吹付仕上面 既存高圧洗浄、下地補修の上、外装薄塗材E
(下塗り:水性改修シーラー)
既存ケイカル板面 既存下地調整の上、NAD塗(塗替)
 - ⊗ 既存照明器具:FL20W×1直付型(撤去)8台
照明器具:NNFW21001 1階踏込 2台
NNFW21091 1~3階 6台<パナソニック>
 - ※特記なき限り外部に面する全ての建具(階段室を含む)について
建具廻りのシーリングの打替を行う。
 - ※DP塗は、耐候性塗料塗りB種、上塗り等級1級(ふっ素)とする。

住戸内改修リスト

改修内容	数量
大便器便座(取替)	12箇所
暖房便座	
TCF116<TOTO>同等品	
インターホン(取替)	12箇所
液晶カラーモニター付インターホン/非常警報、ガス漏れ警報対応/戸外表示機能付 親機:SHVB68431WK・子機:EJ752A<パナソニック電工>同等品	

路線名	一般国道317号				
設計名	東尾道社宅修繕工事				
図面名	1階平面図・2階平面図				
縮尺	1:200	図番	02	作成年月	28年3月
課長	照査	設計			
本州四国連絡高速道路株式会社 しまなみ尾道管理センター					





—— 化粧目地を示す (化粧目地による外壁の色の塗り分けはしない)
 - - - 打継目地を示す

■ 凡例 (屋根伏図・立面図・断面図)

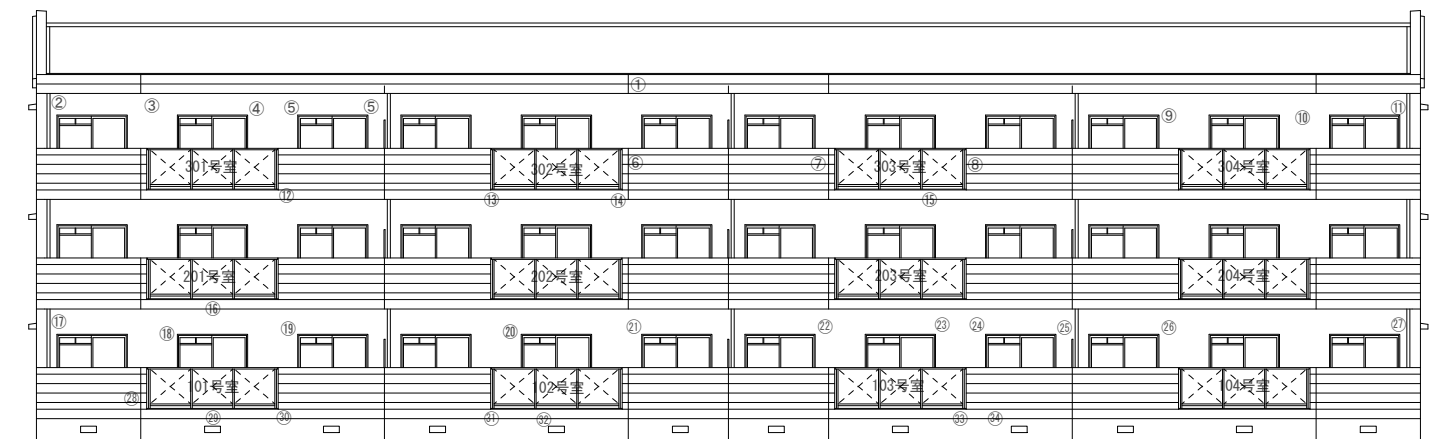
- イ・・・屋根 : 既存着色石綿セメント板葺の上、縦ハゼ葺き フッ素樹脂鋼板0.35ビス止め
 下地: 既存アスファルトルーフィング22kg、特殊繊維入モルタルt40 (既存のまま)
 アスファルトルーフィング23kg+パフ4mm新設
- ロ・・・棟包み・棟押え金物 : 既存フッ素樹脂鋼板t0.4撤去の上、フッ素樹脂塗装鋼板t0.35新設 (取替)
- ハ・・・軒先金物 : 既存フッ素樹脂鋼板t0.4撤去の上、フッ素樹脂塗装鋼板t0.35新設 (取替)
- ニ・・・水上押え金物、ケラバ包み : 既存フッ素樹脂鋼板t0.4撤去の上、フッ素樹脂塗装鋼板t0.35新設 (取替)
- ホ・・・立上り取合雨押え金物 : フッ素樹脂鋼板t0.4撤去の上、フッ素樹脂塗装鋼板t0.35新設 (取替)
 雨押え立上り取合シーリング (打替)
- ヘ・・・外壁 : 既存吹付仕上面 既存高圧洗浄、下地クラック等補修、下地処理の上、
 水性弾性セラミックシリコン樹脂塗料塗り (下塗材:可とう形改修塗材RE厚塗り)
- ト・・・手摺壁 (天端・内外共) : 既存吹付仕上面 既存高圧洗浄、下地クラック等補修、下地処理の上、
 水性弾性セラミックシリコン樹脂塗料塗り (下塗材:可とう形改修塗材RE厚塗り)
- チ・・・打継目地 : シーリング (PU-2) 20x10 (打替)
- リ・・・バルコニー・階段上げ裏 : 既存吹付仕上面
 既存高圧洗浄、下地補修の上、外装薄塗材E (下塗り:水性改修シーラー)
- ヌ・・・軒裏、庇裏 : 既存吹付仕上面
 既存高圧洗浄、下地補修の上、外装薄塗材E (下塗り:水性改修シーラー)
- ル・・・庇 : 天端 (既存防水モルタルコテ押え面) 塗膜防水 (新設)
 外壁取り合い部分シーリング (MS-2、打替)
 見付・小口 (既存吹付仕上面) 既存高圧洗浄、下地クラック等補修、下地処理の上、
 水性弾性セラミックシリコン樹脂塗料 (下塗材:可とう形改修塗材RE厚塗り)

- ヲ・・・腰 : 既存吹付仕上面 既存高圧洗浄、下地クラック等補修、下地処理の上、
 水性弾性セラミックシリコン樹脂塗料塗り (下塗材:可とう形改修塗材RE厚塗り)
- ワ・・・笠木 : アルミ製既製品 (既存のまま)
- カ・・・縦樋 : カラーVP75φ (既存のまま)
 養生管 ステンレス製 (既存のまま)
- ルーフ・中継・フロアドレイン : 鋳鉄製 既存下地調整の上、ノンタール系変性エポキシ樹脂塗料 (塗替)
- コ・・・軒樋 : 塗膜防水 既存下地調整の上、塗膜防水新設
- タ・・・スチール製建具 : 既存下地調整の上、DP塗 (塗替) 枠共 (但し、玄関扉は枠のみ塗替とする)
 建具廻りシーリング (MS-2、打替) 全数
- レ・・・アルミサッシ : サッシ廻りシーリング (MS-2、打替) 全数 (二重水切部分共)
- ソ・・・バルコニー手摺 : アルミフレーム (既存のまま) / アルミ製パンチングメタル (既存のまま)
- ツ・・・窓手摺 : アルミ製 (既存のまま)
- ネ・・・天井裏換気口 : 丸型塩ビパイプ50φ 既存下地調整の上、2-U E塗 (塗替)
- ナ・・・隔板 : アルミ製フレーム (既存のまま) / ボード面 EP塗 (塗替)
- ラ・・・床下換気孔 : 鋳鉄製 W420xH170 既存のまま
- ム・・・排水管 : SGP-65A 既存下地調整の上、DP塗 (塗替) (つかみ金物共)
- ウ・・・設備盤 : スチール製 既存下地調整の上、DP塗 (塗替)
- ヰ・・・郵便ポスト : ステンレス製 (既存のまま)

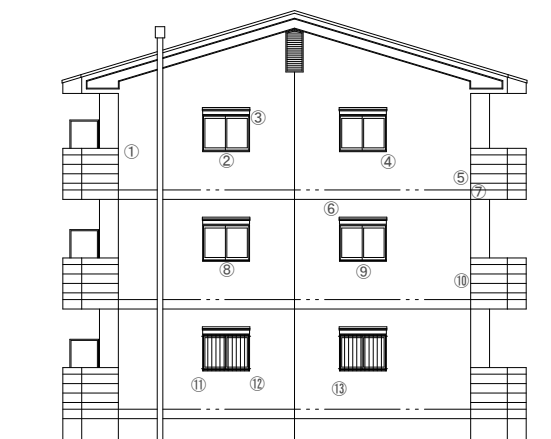
※1. DP塗は、耐候性塗料塗りB種、上塗り等級1級 (ふっ素) とする。
 ※2. 化粧目地は外壁塗装塗り廻しとする。
 ※3. 「下地クラック等補修」は別途工事とする。

- ウ：浄化槽配電盤W700xH1,230xD270
- ウ：配管25φ
- ウ：配管40φ
- ウ：電話端子盤W600xH1,300xD200
- ウ：配管100φ
- ウ：引込開閉器盤M1,100xH1,800xD200

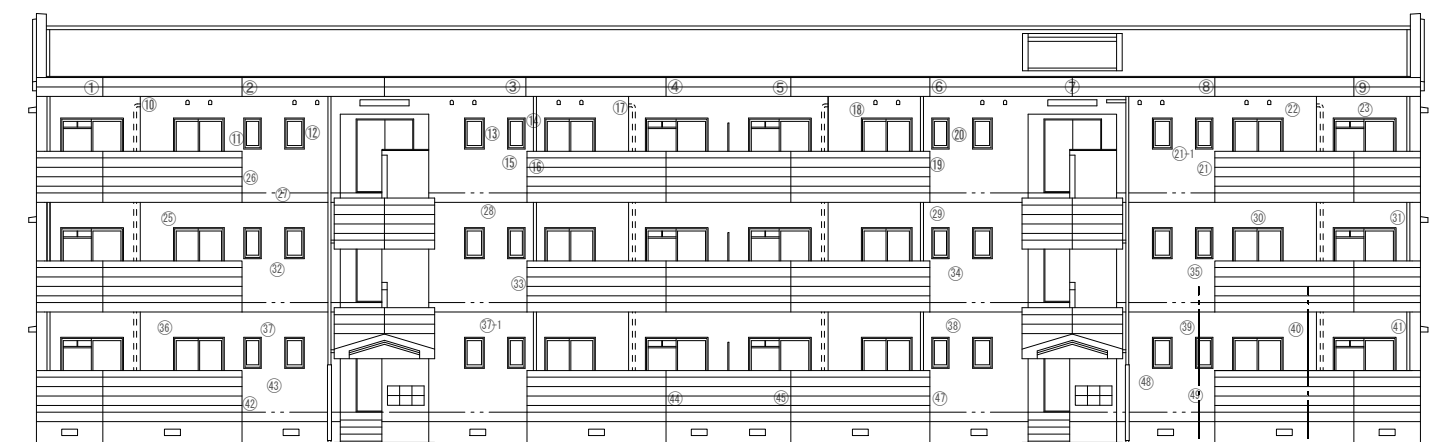
路線名	一般国道317号				
設計名	東尾道社宅修繕工事				
図面名	立面図				
縮尺	1:200	図番	04	作成年月	28年3月
課長	照査	設計			
本州四国連絡高速道路株式会社 しまなみ尾道管理センター					



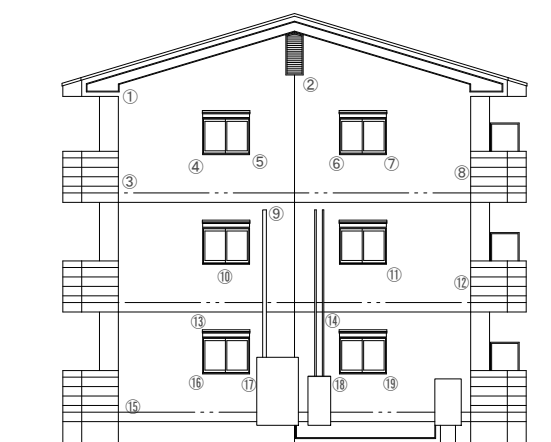
南側立面図 1:200



東側立面図 1:200



北側立面図 1:200

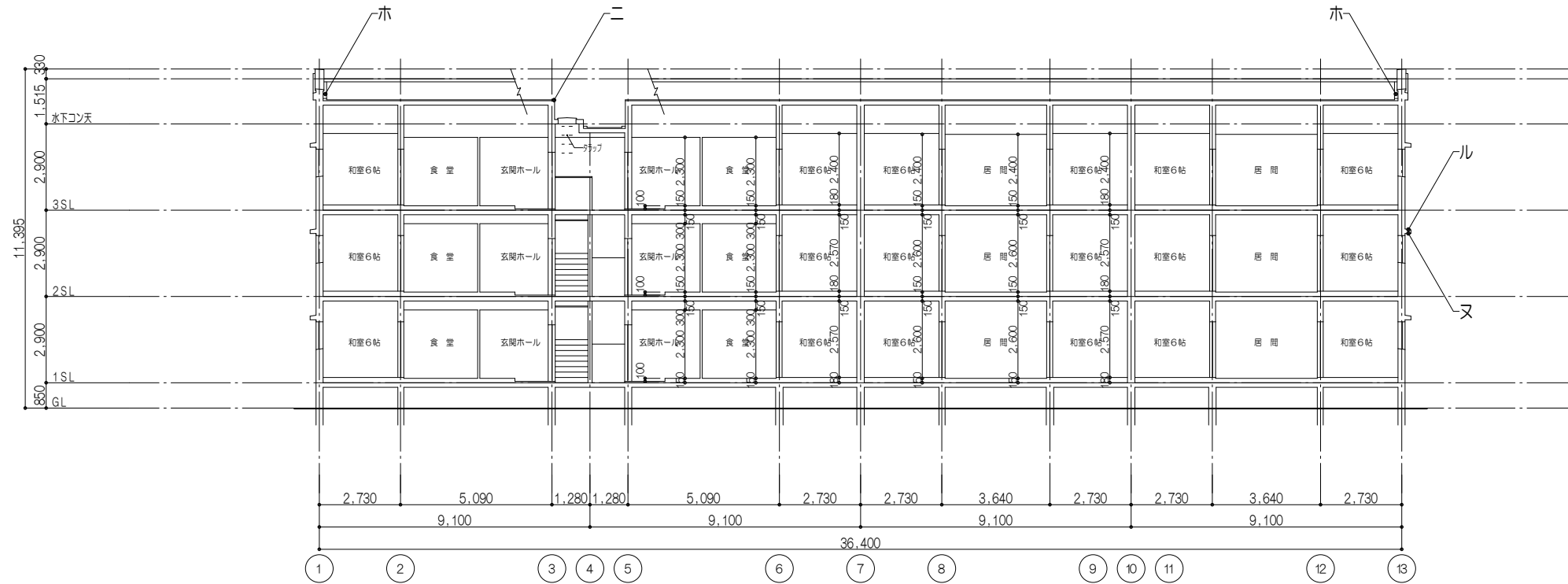


西側立面図 1:200

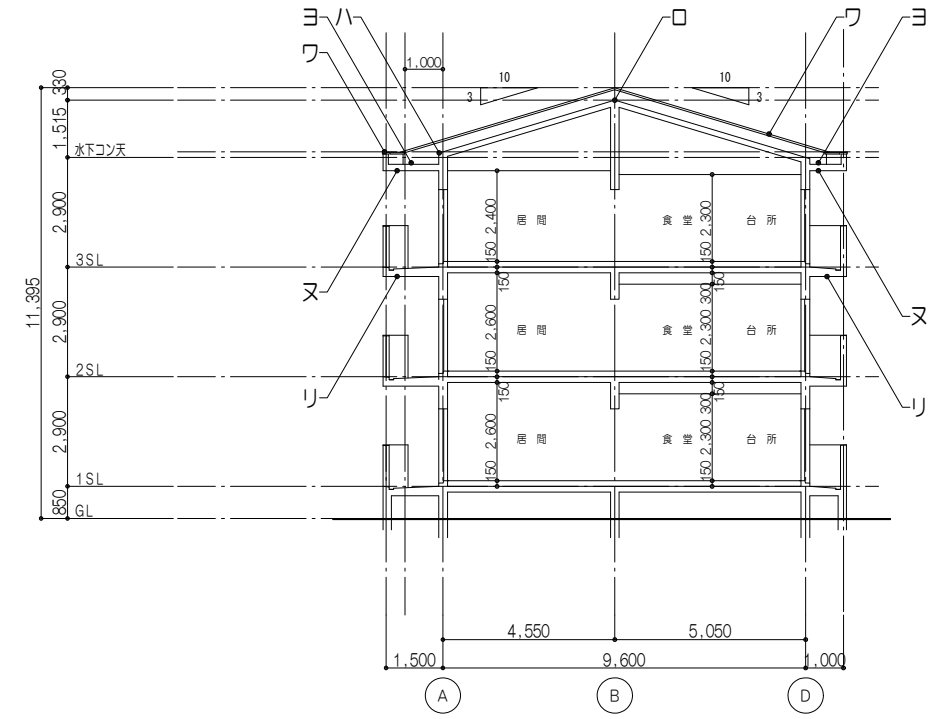
—— 化粧目地を示す (化粧目地による外壁の色の塗り分けはしない)
 - - - 打継目地を示す

外壁クラック調査箇所 クラック巾0.3~1mm																			
東面		西面				南面				北面									
No.	m	No.	m	No.	m	No.	m	No.	m	No.	m	No.	m	No.	m				
1	2.4	1	0.2	16	0.5	1	0.4	16	0.2	31	0.2	1	0.2	16	1.0	30	0.4	44	1.7
2	1.4	2	1.4	17	1.2	2	0.2	17	0.1	32	0.1	2	0.4	17	0.8	31	0.1	45	1.3
3	0.2	3	1.3	18	0.9	3	1.5	18	0.2	33	0.2	3	0.4	18	0.7	32	1.8	46	-
4	0.4	4	2.4	19	0.9	4	0.3	19	0.3	34	0.6	4	0.4	19	1.4	33	1.4	47	1.2
5	0.9	5	0.4	20		5	0.5	20	0.5			5	0.4	20	1.7	34	1.7	48	0.7
6	0.9	6	1.5	21		6	0.2	21	0.1			6	0.4	20-1	1.0	35	2.0	49	2.2
7	0.1	7	0.8	22		7	0.2	22	0.2			7	0.8	21	1.4	36	0.2		
8	0.5	8	1.3	23		8	0.2	23	0.5			8	0.4	22	0.5	37	1.2		
9	3.2	9	0.5	24		9	0.2	24	0.3			9	0.2	23	0.6	37-1	1.6		
10	1.4	10	0.3	25		10	0.4	25	0.2			10	0.8	24	-	38	1.8		
11	0.5	11	0.4	26		11	0.3	26	0.6			11	0.6	25	0.5	39	1.3		
12	0.9	12	1.1	27		12	0.3	27	0.3			12	0.6	26	1.3	40	0.6		
13	1.3	13	0.3	28		13	0.2	28	0.7			13	0.6	27	1.0	41	0.2		
		14	0.4	29		14	0.3	29	0.1			14	2.2	28	2.3	42	1.0		
		15	0.1	30		15	0.1	30	0.6			15	1.7	29	1.1	43	1.1		
計	14.1		12.4	3.5			5.3	4.9	1.1				10.1	15.3	16.4	7.1			
小計	14.1			15.9					11.3							48.9			
合計																			90.2

路線名	一般国道317号				
設計名	東尾道住宅修繕工事				
図面名	立面図(外壁調査図)				
縮尺	1:200	図番	05	作成年月	28年3月
課長		照査		設計	
本州四国連絡高速道路株式会社 しまなみ尾道管理センター					



縦断面図 1:200



横断面図 1:200

■ 凡例 (屋根伏図・立面図・断面図)

- イ・・・屋根 : 既存着色石綿セメント板葺の上、縦ハゼ葺き フッ素樹脂鋼板0.35ビス止め
下地: 既存アスファルトルーフィング22kg、特殊繊維入モルタルt40 (既存のまま) アスファルトルーフィング23kg+パフ4mm新設
- ロ・・・棟包み・棟押え金物 : 既存フッ素樹脂鋼板t0.4撤去の上、フッ素樹脂塗装鋼板t0.35新設 (取替)
- ハ・・・軒先金物 : 既存フッ素樹脂鋼板t0.4撤去の上、フッ素樹脂塗装鋼板t0.35新設 (取替)
- ニ・・・水上押え金物、ケラバ包み : 既存フッ素樹脂鋼板t0.4撤去の上、フッ素樹脂塗装鋼板t0.35新設 (取替)
- ホ・・・立上り取合雨押え金物 : フッ素樹脂鋼板t0.4撤去の上、フッ素樹脂塗装鋼板t0.35新設 (取替) 雨押え立上り取合シーリング (打替)
- ヘ・・・外壁 : 既存吹付仕上面 既存高圧洗浄、下地クラック等補修、下地処理の上、水性弾性セラミックシリコン樹脂塗料塗り (下塗材:可とう形改修塗材RE厚塗り)
- ト・・・手摺壁 (天端・内外共) : 既存吹付仕上面 既存高圧洗浄、下地クラック等補修、下地処理の上、水性弾性セラミックシリコン樹脂塗料塗り (下塗材:可とう形改修塗材RE厚塗り)
- チ・・・打継目地 : シーリング (PU-2) 20x10 (打替)
- リ・・・バルコニー・階段上げ裏 : 既存吹付仕上面 既存高圧洗浄、下地補修の上、外装薄塗材E (下塗り:水性改修シーラー)
- ヌ・・・軒裏、庇裏 : 既存吹付仕上面 既存高圧洗浄、下地補修の上、外装薄塗材E (下塗り:水性改修シーラー)
- ル・・・庇 : 天端 (既存防水モルタルコテ押え面) 塗膜防水 (新設) 外壁取り合い部分シーリング (MS-2、打替) 見付・小口 (既存吹付仕上面) 既存高圧洗浄、下地クラック等補修、下地処理の上、水性弾性セラミックシリコン樹脂塗料 (下塗材:可とう形改修塗材RE厚塗り)

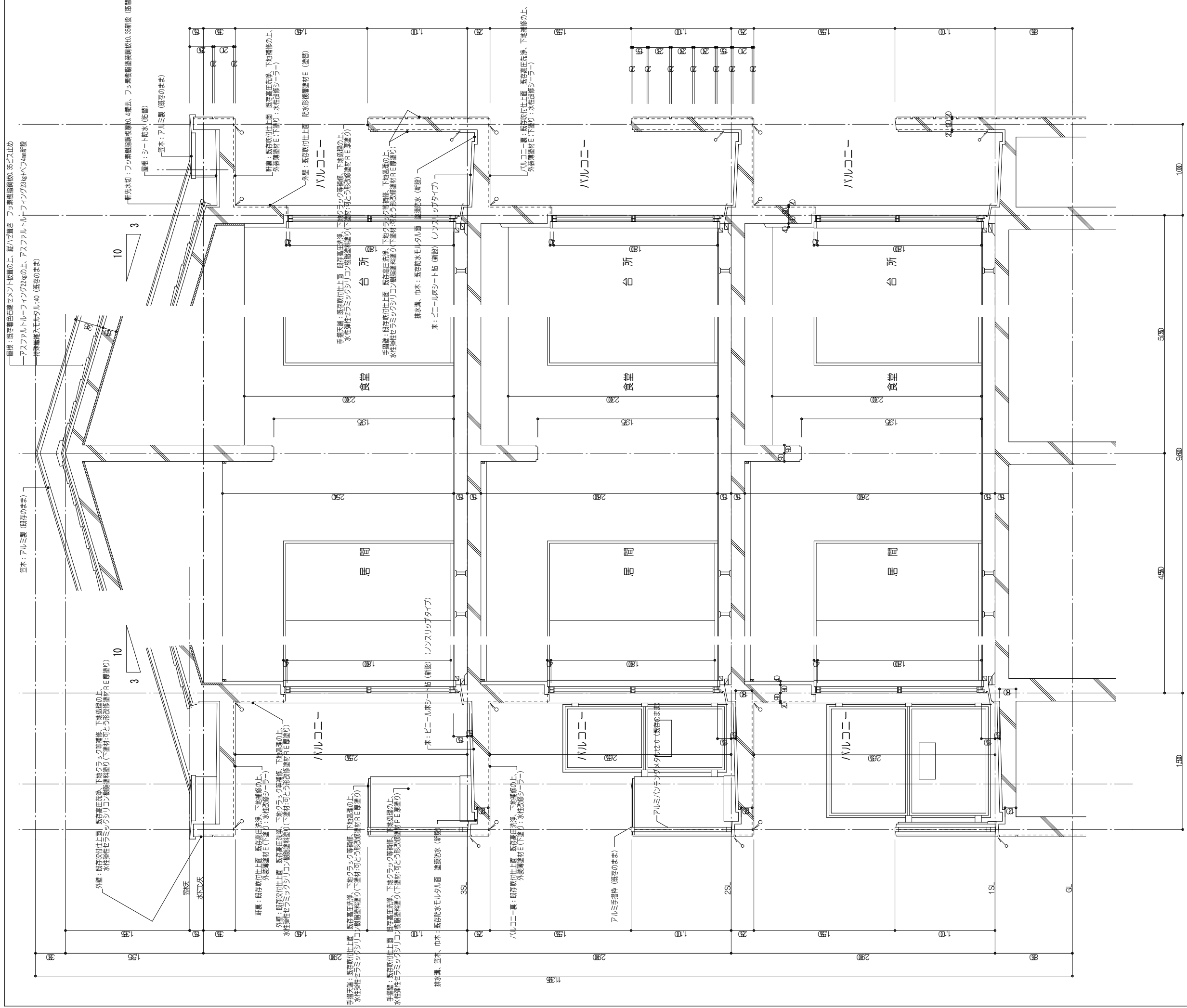
- ヲ・・・腰 : 既存吹付仕上面 既存高圧洗浄、下地クラック等補修、下地処理の上、水性弾性セラミックシリコン樹脂塗料塗り (下塗材:可とう形改修塗材RE厚塗り)
- ワ・・・笠木 : アルミ製既製品 (既存のまま)
- カ・・・縦樋 : カラーVPT5φ (既存のまま) 養生管 ステンレス製 (既存のまま)
- ルーフ・中継・フロアドレイン : 鋳鉄製 既存下地調整の上、ノンタル系変性エポキシ樹脂塗料 (塗替) : 塗膜防水 既存下地調整の上、塗膜防水新設
- コ・・・軒樋 : 既存下地調整の上、DP塗 (塗替) 枠共 (但し、玄関扉は枠のみ塗替とする) 建具廻りシーリング (MS-2、打替) 全数
- タ・・・スチール製建具 : サッシ廻りシーリング (MS-2、打替) 全数 (二重水切部分共)
- レ・・・アルミサッシ : アルミフレーム (既存のまま) / アルミ製パンチングメタル (既存のまま)
- ソ・・・バルコニー手摺 : アルミ製 (既存のまま)
- ツ・・・窓手摺 : 丸型指ピパイプ50φ 既存下地調整の上、2-U-E塗 (塗替)
- ネ・・・天井換気口 : アルミ製フレーム (既存のまま) / ボード面 EP塗 (塗替)
- ナ・・・隔板 : 鋳鉄製 W420xH170 既存のまま
- ラ・・・床下換気孔 : SGP-65A 既存下地調整の上、DP塗 (塗替) (つかみ金物共)
- ム・・・排水管 : スチール製 既存下地調整の上、DP塗 (塗替)
- ウ・・・設備盤 : ステンレス製 (既存のまま)
- ヰ・・・郵便ポスト : ステンレス製 (既存のまま)

※1. DP塗は、耐候性塗料塗りB種、上塗り等級1級 (ふっ素) とする。
 ※2. 化粧目地は外壁塗装塗り廻しとする。
 ※3. 「下地クラック等補修」は別途工事とする。

■ 建築材料・工法等参考品目リスト

- 水性弾性セラミックシリコン樹脂塗料 (下塗材:可とう形改修塗材RE厚塗り) エスケー化研機 水性弾性セラミシリコン (下塗材:水性ソフトサーフェス) 同等品以上
- 水性改修シーラー塗り付け エスケー化研機 水性ミラクシーラーエコ 同等品以上
- 2-U-E エスケー化研機 ウレタンカラー 同等品以上
- ノンタル系変性エポキシ樹脂塗料 エスケー化研機 ミラクNTエポ 同等品以上

路線名	一般国道317号				
設計名	東尾道社宅修繕工事				
図面名	断面図				
縮尺	1:200	図番	06	作成年月	28年3月
課長		照査		設計	
本州四国連絡高速道路株式会社 しまなみ尾道管理センター					



特記事項

1. 改修内容は1階、2階、3階共通とする。
2. 「下地クラック等補修」は別途工事とする。

凡例

一〇 仕上見切り箇所を示す。

路線名	一般国道317号				
設計名	東尾道宅修繕工事				
図面名	矩形図				
縮尺	1:40	図番	08	作成年月	28年3月
課長	照査	設計			
本州四国連絡高速道路株式会社 しまなみ尾道管理センター					

記号 名称	① SD	② SD	③ SD	④ SD
常時開閉式片開きフラッシュ戸 (甲種防火戸)	常時開閉式片開きフラッシュ戸 (乙種防火戸)	常時開閉式片開きフラッシュ戸 (甲種防火戸)	片開き片面フラッシュ取扱ガラリ戸	
位置	玄関 12	P.S 6	廊下 2	P.S (壁)上点検スペース 1
形状				
改修項目	DP塗(塗替)(枠のみ)	DP塗(塗替)(枠共)	DP塗(塗替)(枠共)	DP塗(塗替)(枠共)
材質 見込	枠: スチール SP塗 扉: 化粧鋼板 80(36)	スチール SP塗 100(40)	スチール SP塗 100(40)	スチール SP塗 65(40)
硝子				
付属金物	シリンドラ-重付レバーハンドル錠、丁番、 ドアガード、戸当り、ドアスコープ ドアチェック(ストッパーなし)、郵便投入口・受箱	ケースハンドル錠、丁番、フランシス錠	ケースハンドル錠、丁番	分電錠錠、丁番、内部側ステンレス防虫網
備考	下枠(ステンレス)	下枠(ステンレス)	下枠(ステンレス)	下枠(ステンレス)
記号 名称	① AW 換気框付引違い窓	② AW 換気框付引違い窓	②a AW 換気框付引違い窓(乙種防火戸)	③ AW 引違い窓
位置	各住戸 居間、和室6帖(A)・(B) 3・6	各住戸 和室6帖(C) 7	各住戸 和室6帖(C) 5	各住戸 台所 8
形状				
材質 見込	アルミ 70	アルミ 70	アルミ 70	アルミ 70
硝子	下段: 型板 t.4 (撤去) → 薄型真空断熱ガラス(不透明) t.6.2 (新設) 上段: 透明(フロート) t.3 (撤去) → 薄型真空断熱ガラス(透明) t.6.2 (新設) 小窓: 透明(フロート) t.3 → 既存のまま	下段: 型板 t.4 (撤去) → 薄型真空断熱ガラス(不透明) t.6.2 (新設) 上段: 透明(フロート) t.3 (撤去) → 薄型真空断熱ガラス(透明) t.6.2 (新設) 小窓: 透明(フロート) t.3 → 既存のまま	下段: 網入型板 t.6.8 (撤去) → 薄型真空断熱ガラス(不透明) t.10 (新設) 上段: 網入型板 t.6.8 (撤去) → 薄型真空断熱ガラス(透明) t.10 (新設) 小窓: 網入型板 t.6.8 → 既存のまま	下段: 型板 t.4 (撤去) → 薄型真空断熱ガラス(不透明) t.6.2 (新設) 上段: 透明(フロート) t.3 (撤去) → 薄型真空断熱ガラス(透明) t.6.2 (新設)
付属金物	クレセント(1階のみ据付)、アルミ二重水切 付属金物一式	クレセント(1階のみ据付)、アルミ二重水切 付属金物一式	クレセント(1階のみ据付)、アルミ二重水切 付属金物一式	クレセント(1階のみ据付)、アルミ二重水切 付属金物一式
備考	可動網戸	可動網戸	可動網戸	可動網戸
記号 名称	⑤ AW 内開し窓	⑤a AW 内開し窓(乙種防火戸)	① AG 固定ガラリ(取り外し式)	
位置	各住戸 便所、浴室 1・6	各住戸 便所、浴室 8	両妻上部壁面 2	
形状				
材質 見込	アルミ 70	アルミ 70	アルミ 70	
硝子	型板 t.4 (撤去) → 薄型真空断熱ガラス(不透明) t.6.2 (新設)	網入型板 t.6.8 (撤去) → 薄型真空断熱ガラス(不透明) t.10 (新設)		
付属金物	ラッチハンドル、丁番、アルミ二重水切 付属金物一式	ラッチハンドル、丁番、アルミ二重水切 付属金物一式	付属金物一式	
備考			内部側 ステンレス防虫網	

※特記なき限り、外部に面する全てのアルミ製建具、スチール製建具(階段室を含む)は、建具廻りのシーリングを打ち替える。
(建具表に記載のないものも含む)

※DP塗は、耐候性塗料塗りB種、上塗り等級1級(ふっ素)とする。

※薄型真空断熱ガラス: クリア F i t <日本板硝子株>同等品

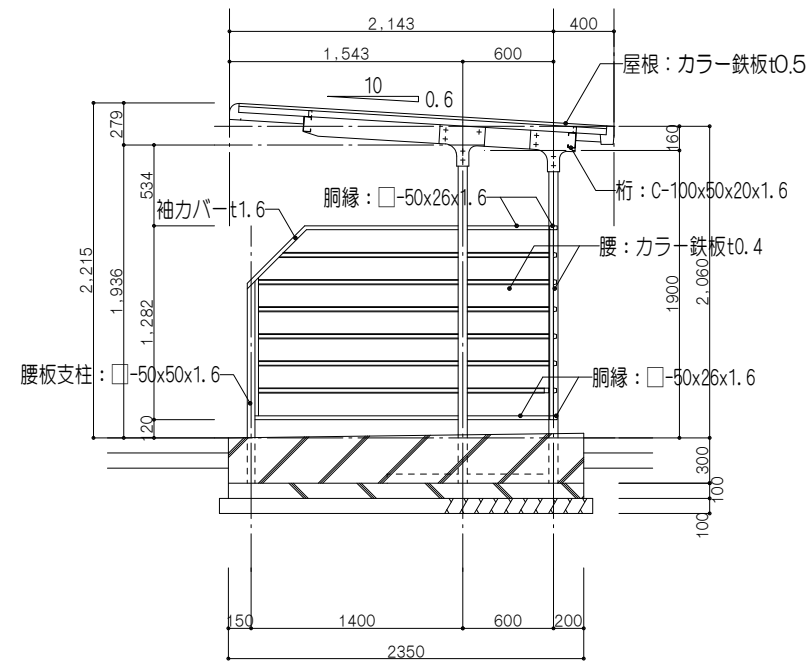
(透明) t.6.2: フロート板ガラス t.3 + 真空層 t.0.2 + フロート板ガラス t.3

(不透明) t.6.2: フロート板ガラス t.3 + 真空層 t.0.2 + すり板ガラス t.3

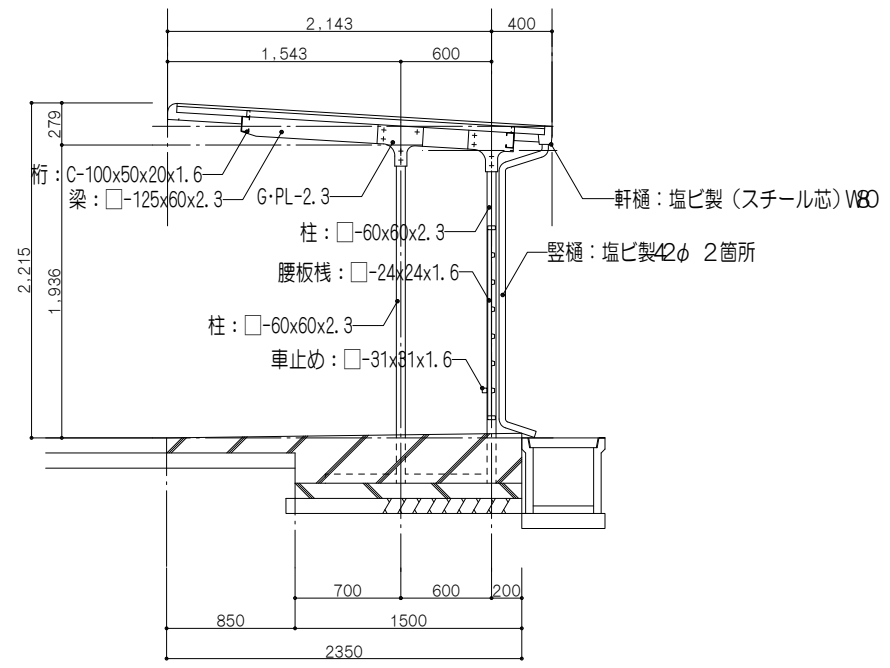
(透明) t.10: 網入磨板ガラス t.6.8 + 真空層 t.0.2 + フロート板ガラス t.3

(不透明) t.10: 網入磨板ガラス t.6.8 + 真空層 t.0.2 + すり板ガラス t.3

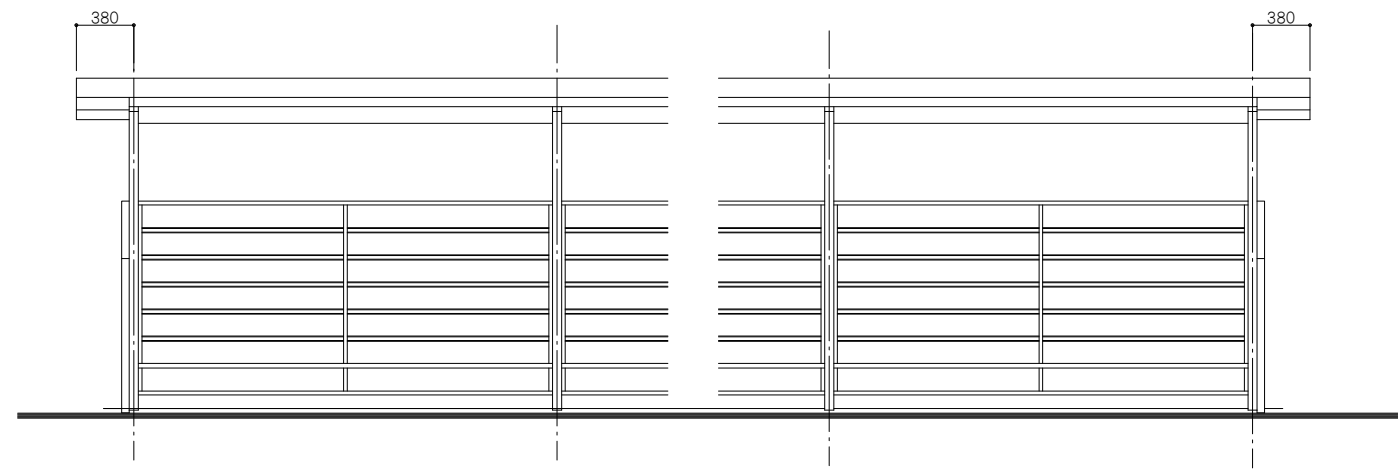
路線名	一般国道317号
設計名	東尾道社宅修繕工事
図面名	建具表
縮尺	1:100
図番	09
作成年月	28年3月
課長	照査
設計	設計
本州四国連絡高速道路株式会社 しまなみ尾道管理センター	



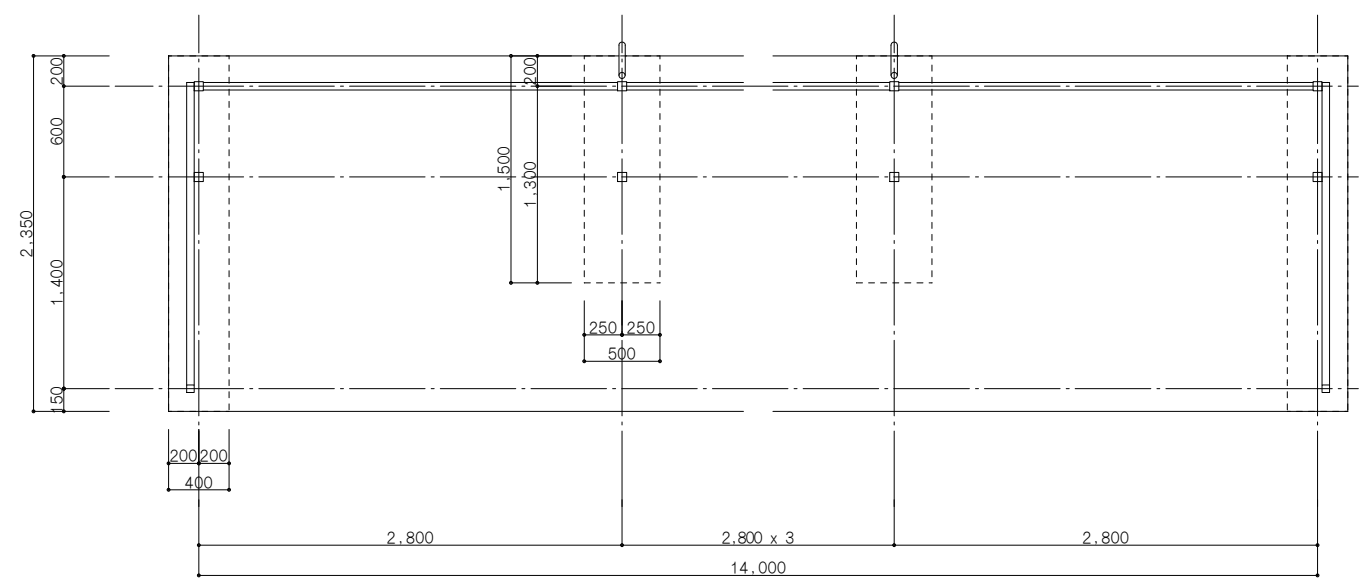
断面図 1:50



断面図 1:50



立面図 1:50

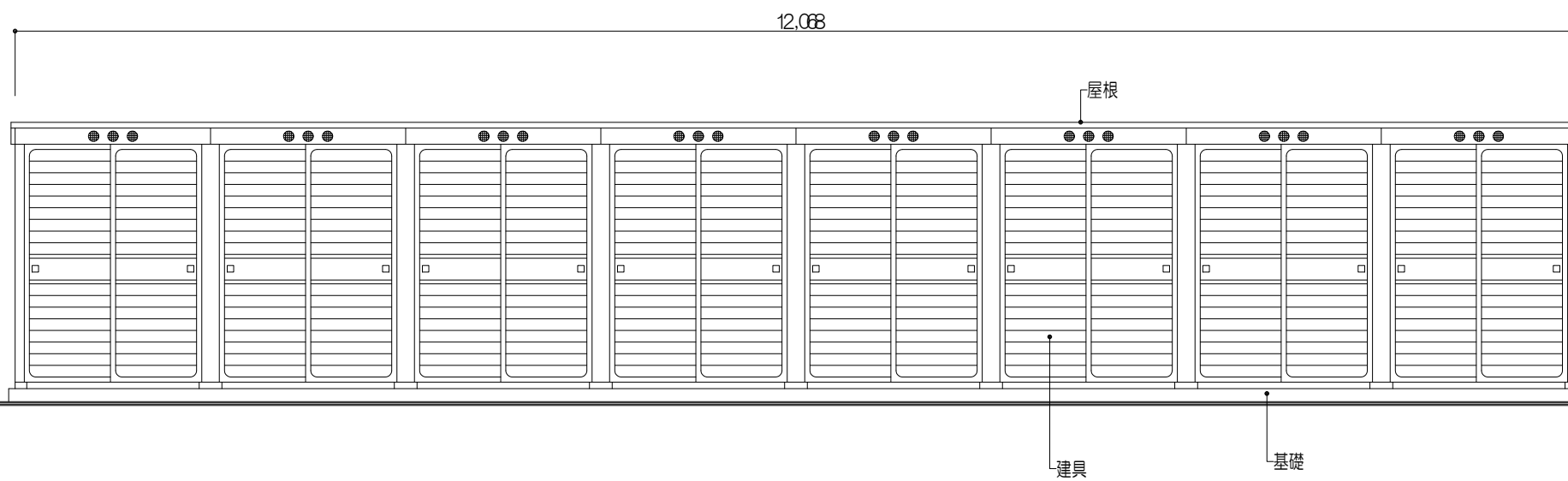


平面図 1:50

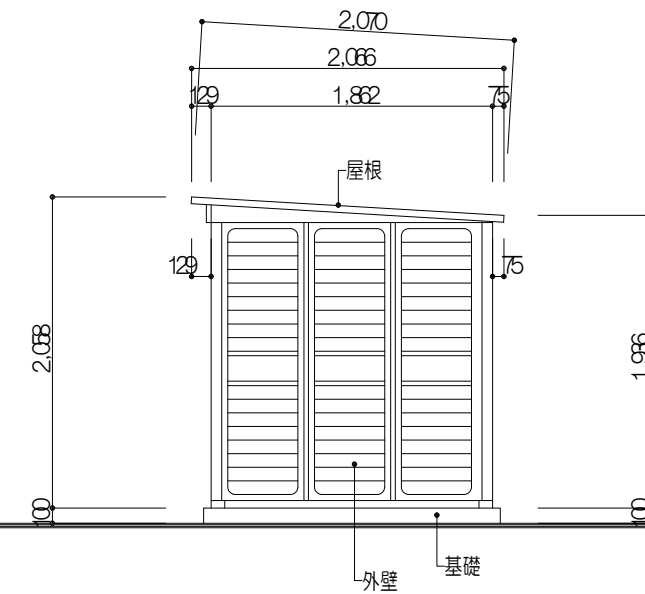
- 特記事項
- 屋根: カラー鉄板t0.5..... 既存下地調整の上、DP塗(塗替)
 - 腰: カラー鉄板t0.4..... 既存下地調整の上、DP塗(塗替)
 - 柱・桁等構造材:
鉄部(亜鉛メッキの上、アクリル樹脂焼付塗装)..... 既存下地調整の上、DP塗(塗替)
 - 胴縁: □-50x26x1.6..... 既存下地調整の上、DP塗(塗替)
 - 腰板棧: □-24x24x1.6..... 既存下地調整の上、DP塗(塗替)
 - 車止めパイプ □-31x31x1.6..... 既存下地調整の上、DP塗(塗替)
 - 軒樋: 塩ビ製(スチール芯)W80..... 既存下地調整の上、2-UE塗(塗替)
 - 縦樋: 塩ビ製φ2φ..... 既存下地調整の上、2-UE塗(塗替)

※特記無き限り、既存見掛け鉄部は、DP塗(塗替)とする。
DP塗は、耐候性塗料塗りB種、上塗り等級1級(ふっ素)とする。

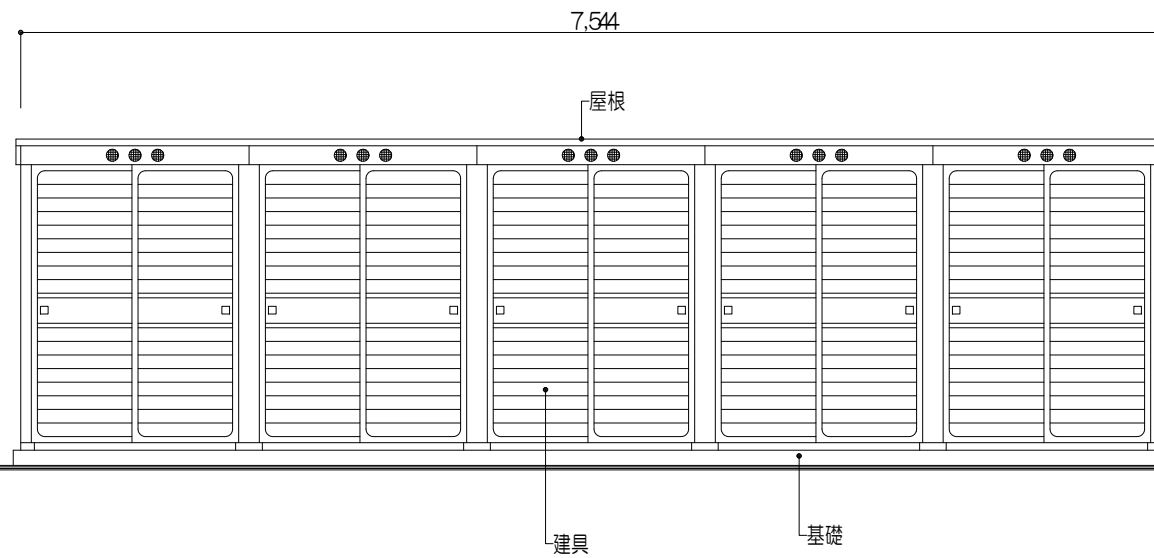
路線名	一般国道317号				
設計名	東尾道社宅修繕工事				
図面名	自転車置場詳細図				
縮尺	1:50	図番	11	作成年月	28年3月
課長		照査		設計	
本州四国連絡高速道路株式会社 しまなみ尾道管理センター					



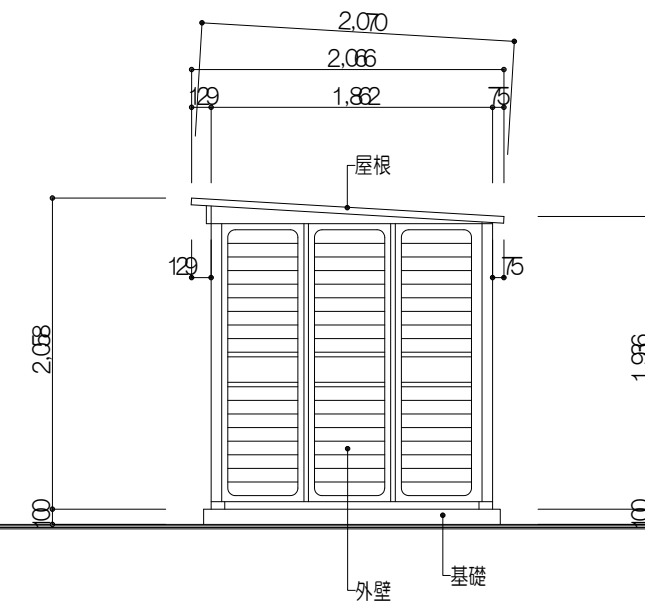
物置 (A) 立面図 (正面) 1:50



物置 (A) 立面図 (側面) 1:50



物置 (B) 立面図 (正面) 1:50



物置 (B) 立面図 (側面) 1:50

特記事項

- 屋根：カラー鋼板t0.4・・・・・・既存下地調整の上、DP塗（塗替）
- 外壁：カラー鋼板t0.4・・・・・・既存下地調整の上、DP塗（塗替）
- 建具：カラー鋼板t0.4・・・・・・既存下地調整の上、DP塗（塗替）
- 基礎：コンクリート・・・・・・（既存のまま）

路線名	一般国道317号				
設計名	東尾道社宅修繕工事				
図面名	物置立面図				
縮尺	1:50	図番	12	作成年月	28年3月
課長		照査		設計	
本州四国連絡高速道路株式会社 しまなみ尾道管理センター					

章	項目	特記事項										
	<ul style="list-style-type: none"> ● 室内空気中の化学物質の濃度測定及び確認 ○ 建築基準法に基づき定められた区分等 ● 施工地域 ○ 設備工事との取合い ● 建設機械 	<ul style="list-style-type: none"> ● 測定しない ● 測定する <ul style="list-style-type: none"> 測定点数 <ul style="list-style-type: none"> ・ 8時間測定 延べ () 箇所 ・ 24時間測定 延べ () 箇所 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">測定対象室および箇所数</td> <td>・ 仕上表による ・ 図示</td> </tr> <tr> <td>測定対象物質</td> <td>・ 室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレンスチレン、エチルベンゼン</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・ 測定は、パッシブ型採取機器により行う ・ 測定条件等は、監督職員の指示による ・ 測定対象物の濃度を測定し、報告すること。 <p>着工前の測定 ・ 行う</p> <p style="padding-left: 40px;">測定対象室及び測定箇所数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 引渡前の測定と同じ ・ 仕上表による ・ 図示 <ul style="list-style-type: none"> ・ 基準風速V₀ () ・ 地表面粗度区分 () ・ 多雪区域の指定 ・ 有 ・ 無 () ・ 垂直積雪量区域 建設省告示第1455号 別表 () <ul style="list-style-type: none"> ● 一般地域 ・ 寒冷地 ・ 共通図による () <ul style="list-style-type: none"> ● グリーン購入法により、排出ガス対策型、低騒音型の建設機械を使用すること。 	測定対象室および箇所数	・ 仕上表による ・ 図示	測定対象物質	・ 室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレンスチレン、エチルベンゼン						
測定対象室および箇所数	・ 仕上表による ・ 図示											
測定対象物質	・ 室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレンスチレン、エチルベンゼン											
2	<p>仮設工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 足場その他 ● 既存部分の養生 ○ 仮設間仕切り、仮設扉 ● 監督員事務所 	<p>内部足場 (2.2.1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ きゃたつ、足場板等 <p>外部足場 (表 2.2.1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● A種 ・ B種 ・ C種 <p>防護シート等による養生 (2.2.1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 適用する ・ 適用しない <p>材料、撤去材等の運搬方法 (表 2.2.2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ● E種 <p>既存部分の養生 (2.3.1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 行う ・ 行わない <p>既存部分における既存家具等 ()</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 養生 方法 () <p>既存ブラインド、カーテン等 ()</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 養生 方法 () ・ 保管 場所 () <p>固定された備品、机・ロッカーの移動等 ()</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 行わない ・ 行う 数量等 () <p>○ 仮設間仕切り (2.3.2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 設置箇所 ・ 図示 ○ 監督員の指示する場所 種別 ・ A種 () ・ B種 () ・ C種 <p>・ 仮設扉</p> <ul style="list-style-type: none"> 設置箇所 ・ 図示 種別 ・ 木製扉(合板張り) <p>・ 設ける ● 設けない (2.4.1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 既存建物の一部を使用する ・ 構内に新設 規模 () m²程度 仕上の程度 下表を標準とする <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">部位等</th> <th>仕上げ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>床</td> <td>合板張り又はビニル床シート張り</td> </tr> <tr> <td>内壁・天井</td> <td>合板又はせっこうボード張り、合成樹脂エポキシパ[®]イ[®]外塗り</td> </tr> <tr> <td>屋根</td> <td>塗装溶融亜鉛めっき鋼板張り、又は鉄板張り、調合ペイント塗り</td> </tr> <tr> <td>休憩室</td> <td>畳敷き</td> </tr> </tbody> </table>	部位等	仕上げ	床	合板張り又はビニル床シート張り	内壁・天井	合板又はせっこうボード張り、合成樹脂エポキシパ [®] イ [®] 外塗り	屋根	塗装溶融亜鉛めっき鋼板張り、又は鉄板張り、調合ペイント塗り	休憩室	畳敷き
部位等	仕上げ											
床	合板張り又はビニル床シート張り											
内壁・天井	合板又はせっこうボード張り、合成樹脂エポキシパ [®] イ [®] 外塗り											
屋根	塗装溶融亜鉛めっき鋼板張り、又は鉄板張り、調合ペイント塗り											
休憩室	畳敷き											

章	項目	特記事項																				
		<ul style="list-style-type: none"> アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 注入口付アンカーピンニングエポキシ樹脂注入タイル固定工法 <p style="text-align: right;">注入口付アンカーピン本数 (・ 図示)</p> <ul style="list-style-type: none"> タイル部分張替え工法 タイル張替え工法 <ul style="list-style-type: none"> 密着張り 改良積上げ張り 改良圧着張り マスク張り モザイクタイル張り 																				
		<ul style="list-style-type: none"> 目地 <ul style="list-style-type: none"> 目地ひび割れ部改修工法 伸縮目地改修工法 																				
	● 塗り仕上げ外壁改修工法	(4.1.4) (4.6.3)																				
	● 既存塗膜劣化部の除去及び下地処理	<ul style="list-style-type: none"> サンダー工法 高圧水洗工法 (加圧力 100~250MP) 塗膜はく離剤工法 ● 水洗いの後ケレン <ul style="list-style-type: none"> ● 下地ひび割れ部等の補修方法 (シール工法としパテ状エポキシ樹脂を使用する。) 																				
	● 改修後新規仕上げ	<ul style="list-style-type: none"> ● 外装薄塗材E (軒裏、バルコニ-裏、階段裏) ● 水性弾性セラミックシリコン樹脂塗料塗り (下塗材:可とう形改修塗材RE厚塗り) ● 防水形複層仕上塗材E塗り (外壁) ● 厚付け仕上塗材塗り ● 複層仕上塗材塗り ● 各種塗材塗り ● マスチック塗材塗り 																				
	● 樹脂注入工法 (別途工事)	<p>ユリア樹脂、メラミン樹脂、フェノール樹脂、レゾルシノール樹脂又はホルムアルデヒド系防腐剤 (以下、「ユリア樹脂等」という) を用いた接着剤のホルムアルデヒドの放散量</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 規制対象外 ● 第三種 <p style="text-align: right;">(4.3.4)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>ひび割れ幅(mm)</th> <th>注入口間隔 (mm)</th> <th>注入量 (ml/m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>● 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上~1.0未満</td> <td>200~300</td> <td>・ 130</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">・ 手動式エポキシ樹脂注入工法 ・ 機械式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上~0.3未満</td> <td>50~100</td> <td>・ 40</td> </tr> <tr> <td>0.3以上~0.5未満</td> <td>100~200</td> <td>・ 70</td> </tr> <tr> <td>0.5以上~1.0未満</td> <td>150~250</td> <td>・ 130</td> </tr> </tbody> </table> <p>建築補修用注入エポキシ樹脂</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 低粘度形 ● 中粘土形 <p>コア抜き検査</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 行う (抜き取り部の補修方法) <p style="text-align: right;">(4.2.2)</p>		ひび割れ幅(mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (ml/m)	● 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~1.0未満	200~300	・ 130	・ 手動式エポキシ樹脂注入工法 ・ 機械式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3未満	50~100	・ 40	0.3以上~0.5未満	100~200	・ 70	0.5以上~1.0未満	150~250	・ 130		
	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (ml/m)																			
● 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~1.0未満	200~300	・ 130																			
・ 手動式エポキシ樹脂注入工法 ・ 機械式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3未満	50~100	・ 40																			
	0.3以上~0.5未満	100~200	・ 70																			
	0.5以上~1.0未満	150~250	・ 130																			
○ Uカットシール材充填工法	<ul style="list-style-type: none"> ● シーリング材充填 ● 充填材料 <ul style="list-style-type: none"> ● 1成分形又は2成分形ポリウレタン系 ● ポリマーセメントモルタルの充填 ● 可とう性エポキシ樹脂 <p style="text-align: right;">(4.3.5)</p>																					
● シール工法 (別途工事)	<ul style="list-style-type: none"> ● パテ状エポキシ樹脂 ● 可とう性エポキシ樹脂 <p>註) クラックの補修にさいしては詳細に調査の上将来の改修および補強工事の際の資料となるよう図面および写真にて確実に記録を残すこととする。</p> <p style="text-align: right;">(4.3.6)</p>																					
● 欠損部改修工法	<ul style="list-style-type: none"> ● 充填工法 ● エポキシ樹脂モルタル ● ポリマーセメントモルタル <p style="text-align: right;">(4.3.7)</p>																					
○ モルタル塗替え工法	<ul style="list-style-type: none"> ● 既成目地材 ● 使用する (形状) <p>仕上げ厚又は全塗り厚が25mmを超える場合の処置</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 図示 																					
● 浮き部改修工事 (別途工事)	(4.4.10~15)																					
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">改修工法の種類</th> <th colspan="2">アンカーピンの本数 (本/m²)</th> <th colspan="2">注入口の箇所数 (箇所/m²)</th> <th rowspan="2">充填量 (箇所/ml)</th> <th rowspan="2">注入量 (箇所/ml)</th> <th rowspan="2">備考 (適用部位等)</th> </tr> <tr> <th>一般部</th> <th>指定部</th> <th>一般部</th> <th>指定部</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法</td> <td>・ 16</td> <td>・ 25</td> <td></td> <td></td> <td>・ 25</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	改修工法の種類	アンカーピンの本数 (本/m ²)		注入口の箇所数 (箇所/m ²)		充填量 (箇所/ml)	注入量 (箇所/ml)	備考 (適用部位等)	一般部	指定部	一般部	指定部	・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	・ 16	・ 25			・ 25		
改修工法の種類	アンカーピンの本数 (本/m ²)			注入口の箇所数 (箇所/m ²)		充填量 (箇所/ml)	注入量 (箇所/ml)				備考 (適用部位等)											
	一般部	指定部	一般部	指定部																		
・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	・ 16	・ 25			・ 25																	

章	項目	特記事項																																			
		・アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	・ 13 ・	・ 25 ・	・ 12 ・	・ 20 ・	・ 25 ・	・ 25 ・																													
		・アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー 注入工法	・ 13 ・	・ 25 ・	・ 12 ・	・ 20 ・	・ 25 ・	・ 50 ・																													
		・注入口付アンカーピン ニング部分 エポキシ樹脂注入工法	・ 9 ・	・ 16 ・				・ 25 ・																													
		・注入口付アンカーピン ニング全面 エポキシ樹脂注入工法	・ 9 ・	・ 16 ・	・ 9 ・	・ 16 ・	・ 25 ・	・ 25 ・																													
		・注入口付アンカーピン ニング全面 ポリマーセメントスラリー 注入工法	・ 9 ・	・ 16 ・	・ 9 ・	・ 16 ・	・ 25 ・	・ 50 ・																													
		・充填工法																																			
		・モルタル塗替え工法																																			
		・注入口付アンカーピン ニング エポキシ樹脂注入 タイル固定工法			・ 9 ・	・ 16 ・	・ 25 ・	・ 25 ・																													
		・タイル部分張替え工法																																			
		・タイル塗替え工法																																			
		<p>アンカーピン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ステンレス製 (SUS304) 呼び径の4mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの (4.2.2) <p>注入口付アンカーピン (4.1.4) (4.2.2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ステンレス製 (SUS304) 呼び径6mm <p>接着剤 (4.5.7) (4.2.2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ポリマーセメントモルタル (4.2.2) ・ タイル部分張替え工法用接着剤 「建設省官民連携共同研究報告書『有機系接着剤を利用した外装タイル・石張りシステムの開発 (建設大臣官房技術調査室監修平成9年2月)』における「外装タイル・石張り用接着剤の品質基準 (案)に基づく品質性能試験に適合するタイプI」とす。 ・ タイル張替え用エポキシ樹脂 ・ ウレタン樹脂及びシリコン樹脂 <p>張り付け材料 既製調合モルタル ・ 使用する</p> <p>張り付け材料 (4.2.2) (4.5.8) 既成調合モルタル ・ 使用する</p> <p>張り付け工法 (4.5.8) 外装タイル ・ 密着張り ・ 改良圧着張り ・ 改良積上げ張り 外装ユニットタイル ・ マスク張り ・ モザイクタイル張り 伸縮調整目地及び、ひび割れ誘発目地 位置 ・ 改修標準仕様書 表4・5・1による ・ 図示 目地寸法 (mm) (幅×深さ) コンクリート打ち継ぎ目地、ひび割れ誘発目地 ・ 20以上×10以上 その他 ・ 10以上×10以上 ・ 10以上×7以上</p> <p>(4.1.4) (4.2.2) (表4.2.3)</p>																																			
	○ タイル部分張替え工法																																				
	○ タイル張替え工法																																				
	● 新規仕上塗材の種類	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>呼び名</th> <th>防火材料</th> <th>仕上げの形状</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="7">●薄付け仕上塗材</td> <td>・ 外装薄塗材S i</td> <td>・</td> <td rowspan="7">● 砂壁状 ・ ゆず肌状 (・吹付け ・ローラー塗) ・ さざ波状 ・ 平たん状 ・ 凹凸状 (・吹付け ・こて塗り) ・ 着色骨材砂壁状 (・吹付け・こて塗り) ・ 砂壁状じゅらく ・ 京壁状じゅらく</td> </tr> <tr> <td>・ 可とう形外装薄塗材S i</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>● 外装薄塗材E</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ 可とう形外装薄塗材E</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 防水形外装薄塗材E</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ 外装薄塗材S</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ 内装薄塗材W</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">・ 厚付け仕上塗材</td> <td>・ 外装厚塗材C</td> <td>・</td> <td rowspan="3">・ 吹放し ・ 凸部処理 ・ 平たん状 ・ 凹凸状 ・ ひき起こし ・ かき落とし 上塗材 ・ 適用する</td> </tr> <tr> <td>・ 外装厚塗材S i</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ 外装厚塗材E</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table>								種類	呼び名	防火材料	仕上げの形状	●薄付け仕上塗材	・ 外装薄塗材S i	・	● 砂壁状 ・ ゆず肌状 (・吹付け ・ローラー塗) ・ さざ波状 ・ 平たん状 ・ 凹凸状 (・吹付け ・こて塗り) ・ 着色骨材砂壁状 (・吹付け・こて塗り) ・ 砂壁状じゅらく ・ 京壁状じゅらく	・ 可とう形外装薄塗材S i	・	● 外装薄塗材E	・	・ 可とう形外装薄塗材E		・ 防水形外装薄塗材E	・	・ 外装薄塗材S	・	・ 内装薄塗材W	・	・ 厚付け仕上塗材	・ 外装厚塗材C	・	・ 吹放し ・ 凸部処理 ・ 平たん状 ・ 凹凸状 ・ ひき起こし ・ かき落とし 上塗材 ・ 適用する	・ 外装厚塗材S i	・	・ 外装厚塗材E	・
種類	呼び名	防火材料	仕上げの形状																																		
●薄付け仕上塗材	・ 外装薄塗材S i	・	● 砂壁状 ・ ゆず肌状 (・吹付け ・ローラー塗) ・ さざ波状 ・ 平たん状 ・ 凹凸状 (・吹付け ・こて塗り) ・ 着色骨材砂壁状 (・吹付け・こて塗り) ・ 砂壁状じゅらく ・ 京壁状じゅらく																																		
	・ 可とう形外装薄塗材S i	・																																			
	● 外装薄塗材E	・																																			
	・ 可とう形外装薄塗材E																																				
	・ 防水形外装薄塗材E	・																																			
	・ 外装薄塗材S	・																																			
	・ 内装薄塗材W	・																																			
・ 厚付け仕上塗材	・ 外装厚塗材C	・	・ 吹放し ・ 凸部処理 ・ 平たん状 ・ 凹凸状 ・ ひき起こし ・ かき落とし 上塗材 ・ 適用する																																		
	・ 外装厚塗材S i	・																																			
	・ 外装厚塗材E	・																																			

章	項目	特記事項																																																							
	<ul style="list-style-type: none"> ● 下地調整の種別 	<ul style="list-style-type: none"> ● 複層仕上塗材 (外壁) <table border="1"> <tr><td>● 複層塗材CE</td><td>●</td></tr> <tr><td>● 可とう形外装薄塗材CE</td><td>●</td></tr> <tr><td>● 複層塗材Si</td><td>●</td></tr> <tr><td>● 複層塗材E</td><td>●</td></tr> <tr><td>● 複層塗材RE</td><td>●</td></tr> <tr><td>● 複層塗材RS</td><td>●</td></tr> <tr><td>● 防水形複層塗材CE</td><td>●</td></tr> <tr><td>● 防水形複層塗材E</td><td>●</td></tr> <tr><td>● 防水形複層塗材RE</td><td>●</td></tr> <tr><td>● 防水形複層塗材RS</td><td>●</td></tr> </table> ● 可とう系改修用仕上塗材 <table border="1"> <tr><td>● 可とう系改修塗材E</td><td>●</td></tr> <tr><td>● 可とう系改修塗材RE</td><td>●</td></tr> <tr><td>● 可とう系改修塗材CE</td><td>●</td></tr> </table> ● マスチック塗材 <table border="1"> <tr><td>● A種</td><td>●</td></tr> <tr><td>● C種</td><td>●</td></tr> </table> ● アクリル樹脂系非水分散形塗料 (天井) 	● 複層塗材CE	●	● 可とう形外装薄塗材CE	●	● 複層塗材Si	●	● 複層塗材E	●	● 複層塗材RE	●	● 複層塗材RS	●	● 防水形複層塗材CE	●	● 防水形複層塗材E	●	● 防水形複層塗材RE	●	● 防水形複層塗材RS	●	● 可とう系改修塗材E	●	● 可とう系改修塗材RE	●	● 可とう系改修塗材CE	●	● A種	●	● C種	●	<ul style="list-style-type: none"> ● 凸部処理 ● 凹凸模様 ● ゆず肌状 <p>上塗材 耐候性 ● 耐候性3種 ● 溶媒 ● 水系 ● 溶剤系 樹脂 ● アクリル系 ● 外観 ● つやあり ● つやなし ● メタリック</p> <p>増塗材 ● 適用する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 平たん状 ● さざ波状 ● ゆず肌状 <p>凸部処理 ● 行う 仕上材 ● アクリル樹脂エナメル ● つや有合成樹脂エマルジョンペイント</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● ローラー塗とし既存塗膜剥離面はテクスチャーの調整を行う 																						
● 複層塗材CE	●																																																								
● 可とう形外装薄塗材CE	●																																																								
● 複層塗材Si	●																																																								
● 複層塗材E	●																																																								
● 複層塗材RE	●																																																								
● 複層塗材RS	●																																																								
● 防水形複層塗材CE	●																																																								
● 防水形複層塗材E	●																																																								
● 防水形複層塗材RE	●																																																								
● 防水形複層塗材RS	●																																																								
● 可とう系改修塗材E	●																																																								
● 可とう系改修塗材RE	●																																																								
● 可とう系改修塗材CE	●																																																								
● A種	●																																																								
● C種	●																																																								
		既存塗膜剥離部分 ● RB種 既存塗膜活膜部分 ● RC種																																																							
5	建具改修工事 <ul style="list-style-type: none"> ● 薄型断熱ガラス 	<ul style="list-style-type: none"> ● クリアFit<日本板硝子>同等品 																																																							
6	塗装改修工事 <ul style="list-style-type: none"> ● 材料 ● 既存塗膜の除去範囲 ● コンクリート、ALCパネル及び押出成形セメント板面の下地調整 ● 下地調整 	コリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒドの放散量 <ul style="list-style-type: none"> ● 規制対象外 ● 第三種 ● 屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする ● 次の箇所を除き防火材料とする (箇所：) <p>下地調整がRB種の場合 (● 塗り替え部分の30% ●) (7.2.1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● RB種 ● (表7.2.6) <p>既存塗膜の除去範囲 (塗り替えでRB種の場合) (7.2.1) (表7.2.1~表7.2.7)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 塗り替え面積の30% ● 図示 <p>下地調整 (7.2.2~7.2.7 表7.2.1~表7.2.7)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">下地面の種類</th> <th colspan="2">下地調整の種別</th> <th rowspan="2">ひび割れ部の補修</th> </tr> <tr> <th>塗替え</th> <th>新規</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>木部</td> <td>● RB種 ● RC種</td> <td>● RA種 ● RB種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td>● RB種 ● RC種</td> <td>● RA種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき面</td> <td>● RB種 ● RC種</td> <td>● RA種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき面 (鋼製建具)</td> <td>● RB種 ● RC種</td> <td>● RA種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>モルタル、プラスター面</td> <td>● RB種 ● RC種</td> <td>● RA種 ● RB種</td> <td>● 行う</td> </tr> <tr> <td>コンクリート、ALCブロック面</td> <td>● RB種 ●</td> <td>● RA種 ● RB種</td> <td>● 行う</td> </tr> <tr> <td>コンクリート、押出成形セメント板面</td> <td>● ●</td> <td>● RA種 ● RB種</td> <td>● 行う</td> </tr> <tr> <td>せっこうボード、その他ボード面</td> <td>● RB種 ● RC種</td> <td>● RA種 ● RB種</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>錆止め塗料塗 (7.3.2、7.3.3) (表7.3.1~表7.3.4)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">塗装面</th> <th>錆止め塗料の種別</th> <th>工程</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">鉄鋼面</td> <td>屋外</td> <td>● A種 ● B種</td> <td>● C種 ●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>屋内</td> <td>● A種 ● B種</td> <td>● C種 ●</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	下地面の種類	下地調整の種別		ひび割れ部の補修	塗替え	新規	木部	● RB種 ● RC種	● RA種 ● RB種		鉄鋼面	● RB種 ● RC種	● RA種		亜鉛めっき面	● RB種 ● RC種	● RA種		亜鉛めっき面 (鋼製建具)	● RB種 ● RC種	● RA種		モルタル、プラスター面	● RB種 ● RC種	● RA種 ● RB種	● 行う	コンクリート、ALCブロック面	● RB種 ●	● RA種 ● RB種	● 行う	コンクリート、押出成形セメント板面	● ●	● RA種 ● RB種	● 行う	せっこうボード、その他ボード面	● RB種 ● RC種	● RA種 ● RB種		塗装面		錆止め塗料の種別	工程	備考	鉄鋼面	屋外	● A種 ● B種	● C種 ●		屋内	● A種 ● B種	● C種 ●				
下地面の種類	下地調整の種別			ひび割れ部の補修																																																					
	塗替え	新規																																																							
木部	● RB種 ● RC種	● RA種 ● RB種																																																							
鉄鋼面	● RB種 ● RC種	● RA種																																																							
亜鉛めっき面	● RB種 ● RC種	● RA種																																																							
亜鉛めっき面 (鋼製建具)	● RB種 ● RC種	● RA種																																																							
モルタル、プラスター面	● RB種 ● RC種	● RA種 ● RB種	● 行う																																																						
コンクリート、ALCブロック面	● RB種 ●	● RA種 ● RB種	● 行う																																																						
コンクリート、押出成形セメント板面	● ●	● RA種 ● RB種	● 行う																																																						
せっこうボード、その他ボード面	● RB種 ● RC種	● RA種 ● RB種																																																							
塗装面		錆止め塗料の種別	工程	備考																																																					
鉄鋼面	屋外	● A種 ● B種	● C種 ●																																																						
	屋内	● A種 ● B種	● C種 ●																																																						

章	項目	特記事項				
○ 床用塗料		亜鉛めっき面		C種	・ C種 ・	屋内用水性塗料塗り
		塗替え	・ A種 ・ B種	・ C種 ・		
		新規鋼製建具	・ A種 ・ B種	・ B種		
		塗替鋼製建具	・ A種 ・ B種	・ C種		
		その他	C種	・ C種 ・	屋内用水性塗料塗り	
	表面仕上げ (・ 平滑塗り ・ 防滑仕上げ)					
	材質 (・ ウレタン樹脂系塗料 (塗布量0.3kg/m2以上) ・)					

材料記号	
SOP : 合成樹脂調合ペイント	GB-R : 石膏ボード
CL : クリアラッカー塗り	GB-P : 吸音用穴あき石膏ボード
FE : フタル酸樹脂エナメル	GB-S : シーリング石膏ボード
NAD : アクリル樹脂系非水分散形塗料塗	GB-F : 強化石膏ボード
AE : アクリル樹脂エナメル塗り	GB-NC : 不燃積層石膏ボード (模様なし)
②-UE : 2液型ポリウレタンエナメル塗り	GB-NC(T) : 不燃積層石膏ボード (トラバーチン模様)
DP : 耐候性塗料塗り	GB-D(W) : 化粧石膏ボード (杉証模様)
EP-G : つや有り合成樹脂エマルジョンペイント塗り	DR : ロックウール化粧吸音板
EP : 合成樹脂エマルジョンペイント塗り	FK : 無石綿セメントけい酸カルシウム板
EP-M : 多彩模様塗料塗り	FK-P : 吸音穴あき無石綿セメントけい酸カルシウム板
EP-T : 合成樹脂エマルジョンペイント模様塗料塗り	PF : ポリスチレンフォーム保温板
UC : ウレタン樹脂ワニス塗り	D : アクリル樹脂焼付塗装
OS : 油性ステイン塗り	MB : メラミン樹脂化粧板
LGS : 軽量鉄骨	SP : 内装薄塗材E